

第5回日独環境フォーラム

# 電気自動車からスマートホームまで： 持続可能なエネルギーの将来に向けた インテリジェントソリューション

2013年1月15日(火)-16日(水)

連邦政府プレス・ビジターセンター、ベルリン



Federal Ministry for the  
Environment, Nature Conservation  
and Nuclear Safety



# ご挨拶

## エネルギー転換のためのキーテクノロジー



ドイツと日本は、「エネルギー供給を長期的に化石燃料に依存しない」という目標を共有しています。化石燃料からの脱却は、気候変動の防止に向けた目標達成に

貢献するばかりでなく、企業や消費者が確実に利用でき、かつ継続的に調達可能なエネルギー源を自国で確保することを意味します。私にとって、これは単なるエコロジー面での挑戦にとどまるものではありません。エネルギー転換は、テクノロジー面での大きな挑戦であると同時に、経済面でも非常に大きなチャンスをもたらすものです。エネルギー効率と再生可能エネルギーが堅実な経済的メリットにつながることを示すことは、将来の市場競争においても最も有利な立場を確保できることを意味します。

エネルギー転換において、私たちは新たな道を歩んでいます。そこでは、鍵となるトータルコンセプトの他に技術上のソリューションが特に求められており、再生可能エネルギーの系統連携、電力需要と消費のインテリジェントな制御、適切な蓄エネルギーなどの課題がクローズアップされています。加えて、ヒトとモノのモビリティが今日までほぼ化石エネルギーだけに頼ってきたということからも、私

たちは交通部門においても特別な課題に直面しています。エレクトロモビリティなどの関連技術は、再生可能エネルギー源への転換に追い風をつくるためにも一貫して推進される必要があると私は考えます。そして、車とグリッドとの連携によって生まれる大きな相乗効果は、交通部門においても一歩一歩エネルギー転換を達成してゆくことに貢献するものです。

ドイツと日本は、エネルギー供給において持続性のある未来を実現するためのソリューションを開発し、実践検証できる研究大国です。類似した課題を抱え、また各テクノロジー分野において独自の強みを有していることから、両国間の交流と協力は非常に有効です。今回で第5回を迎える日独環境フォーラムでは、産官学を代表する方々にお集まりいただき、共に前途有望な論点を討議し、協力の糸口を見出していいただくことができれば大変嬉しく思います。本フォーラムが、有意義な対話の場となりますことを祈念するとともに、皆さまのご尽力に感謝いたします。

ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省大臣  
ペーター・アルトマイヤー

### 主催

- ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省 (BMU)
- 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

### 後援

- ドイツ連邦経済・技術省 (BMWi)
- 経済産業省 (METI)
- ドイツ連邦環境財団 (DBU)

### 言語

日独同時通訳

### 参加費

無料

### 参加申込み

事前のお申込みが必要です。期日前でも定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。締切り2012年12月28日(金)

# プログラム

## 2013年1月15日(火)

---

09:15 **参加者受付開始**

09:45 **開会の挨拶および導入講演**

モデレーター: B.A.U.M. コンサルタント社 代表取締役  
ルドヴィッグ・カルグ

### 開会の辞

ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省 政務次官  
ウルスラ・ハイネン-エッセル

### 開会の挨拶

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 理事  
国吉浩

### 導入講演

「『再生可能な』エレクトロモビリティ実践のための戦略と政策」  
連邦環境・自然保護・原子炉安全省 環境・健康・公害防止・設備安全・交通・  
化学安全局長  
フベルト・シュタインケムパー

### 「エネルギー・環境問題の解決に向けた活動について」

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 理事  
国吉浩

11:00 **休憩**



Ludwig Karg



Ursula Heinen-Esser



Hiroshi Kuniyoshi



Hubert Steinkemper

プログラム  
2013年1月15日(火)

---

11:20

**基調講演**

「明日のエネルギー供給とモビリティ」

エコ研究所 エネルギー・気象政策部 主席研究員  
フェリックス・クリスチャン・マッテス

「東日本大震災後の日本におけるエネルギー供給」

一般財団法人日本エネルギー経済研究所 理事  
星 尚志

12:00

**パネルディスカッション**

12:30

**昼食休憩**

13:30

**エキスパートフォーラム 1:**

**最新の日独実証実験事業動向**

モデレーター: 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)  
国際部 部長  
松岡 建志

「実施中のICTプロジェクトの現状と最初の成果」

連邦経済・技術省 IT・コミュニケーション・郵便政策部 ICT開発統括課 課長  
アレキサンダー・テッテンボルン



*Felix C. Matthes*



*Hisashi Hoshi*



*Kenji Matsuoka*



*Alexander Tettenborn*

プログラム  
2013年1月15日(火)

---

「スマートコミュニティのパイロットプロジェクトにおける現状動向および初期成果」

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

スマートコミュニティ部 主査

佐藤 貴史

「プロジェクト 4-S - 電気自動車とインフラのスマートマネージメント」

シーメンス 株式会社 コーポレートテクノロジー・4-S プロジェクトリーダー

アンドレアス・ロマンディ

「低炭素社会システムのための豊田市実証事業 - 最新動向」

トヨタ自動車株式会社 技術統括部 主査

松本 優

15:00 **パネルディスカッション / 質疑応答**

15:30 **休憩**

16:00 **エキスパートフォーラム 2:**

**グリッドマネジメントの将来展望 - 課題と解決策**

モデレーター: ドイツ再生可能エネルギー協会 (BEE) 広報官

ダニエル・クルーゲ



Takafumi Satoh



Andreas Romandi



Yutaka Matsumoto



Daniel Kluge

プログラム

2013年1月15日(火)

---

「将来の電力システムに向けた課題と可能なソリューション」

50ヘルツトランスミッション社 戦略的系統計画

ローランド・バウアー

「将来の系統のためのEV/PHVスマート充電およびデマンドレスポンス」

一般財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所 副研究参事

浅野 浩志

「スマートグリッドにおいてどれだけの管理技術が本当に必要とされるのか？

パイロットプロジェクトによるチャレンジと経験」

N-ERGIE ネットズ社 電力グリッド開発上級研究員

ライネル・ベスマン

「311震災発生以降における仙台マイクログリッドの特性」

株式会社 NTTファシリティーズ 研究開発本部 パワーシステム部門 主幹研究員

廣瀬 圭一

17:25 **パネルディスカッション / 質疑応答**

17:50 **終了**

18:30 **レセプション**

会場: 連邦環境省 アトリウム

Stresemannstraße 128-130, Berlin



Roland Bauer



Hiroshi Asano



Rainer Bäsman



Keiichi Hirose

# プログラム

## 2013年1月16日(水)

---

09:30

### エキスパートフォーラム 3:

#### 電気自動車とスマートグリッドのための持続可能な技術

モデレーター: NEDO スマートコミュニティ部 蓄電技術開発室長  
細井敬

#### 「電池リサイクリング - 廃ハイブリッド・電気自動車電池素材からの有価物回収のための持続的貢献」

ユミコア 株式会社 ユミコア電池リサイクル (UBR-HU) 部長  
フランク・トレッファー

#### 「電力システム用蓄電池の最新技術動向」

株式会社 東芝 社会インフラシステム社 電力流通システム事業部  
系統ソリューション技術部 参事  
浅野 俊明

10:15

### パネルディスカッション / 質疑応答

10:40

### 休憩

11:00

### 「MORE (モーターリサイクリング): 電気モーターリサイクルのソリューション」

ダイムラ 株式会社 製造・原材料技術部  
クリスチャン・チューリゲン



Kei Hosoi



Frank Treffer



Toshiaki Asano



Christian Thüringen

プログラム

2013年1月16日(水)

---

「レアアース磁石のリサイクルに関する NEDO プロジェクトの概要」

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 環境部 部長  
相樂 希美

「リチウムイオン電池リサイクルの研究プロジェクト - Lithorec」

H.C. シュトラック 社 R&D 技術スカウト部 研究主幹  
マルコス・ヴァインマン

12:00 **パネルディスカッション / 質疑応答**

12:20 **昼食休憩**

13:45 **エキスパートフォーラム 4:**

**都市空間における電気自動車とスマートホーム**

モデレーター: モビリティと社会変動イノベーションセンター InnoZ 社  
インテリジェントシティー・リーダー  
フロリアン・レンネルト

**「電気自動車の電力システムへの統合に向けた挑戦 -**

**パイロットプロジェクトからの見識とソリューション」**

スマートラブ イノベーション 社 技術部長 統括マネージャー  
ハウケ・ヒンリヒス



Nozomi Sagara



Markus Weinmann



Florian Lennert



Hauke Hinrichs



プログラム  
2013年1月16日(水)

---

「日立のスマートシティ実証について」

株式会社 日立製作所 グローバル事業統括推進センター プロジェクト推進室 室長  
江村文敏

「フラウンホーファー研究プロジェクト『Morgenstadt - 明日の都市』  
におけるスマートシティのための持続可能なエネルギーシステム」

フラウンホーファー太陽エネルギーシステム研究所 (ISE)  
スマートエネルギーシティリーダー  
ゲルハルト・スティリ-ヒップ

15:05 **パネルディスカッション / 質疑応答**

15:30 **休憩**

15:50 「EVを活用したHEMSの概要」

三菱電機 株式会社

戦略事業開発室スマートコミュニティプロジェクトグループ 事業開発担当部長  
田中 謙吾

「Drive Now カーシェアリング - フレキシブルで持続可能なモビリティ」

BMWグループ モビリティサービス部

カール フリードリッヒ・エックハルト

16:30 **パネルディスカッション / 質疑応答**

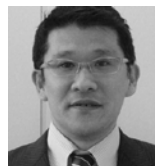
17:00 **閉会の辞**



Fumitoshi Emura



Gerhard Stryi-Hipp



Kengo Tanaka



Carl F. Eckhardt

# 会場案内

---

## フォーラム会場

### 連邦政府プレス・ビジターセンター(PBZ)

Presse und Besucherzentrum der Bundesregierung (PBZ)

Reichstagsufer 14, 10117 Berlin

T: +49 (0)30 18 272-0

F: +49 (0)30 18 10 272-0

連邦政府プレス・ビジターセンター (PBZ) は連邦報道局 (BPA) と同じ敷地内にあります。

最寄駅: Friedrichstraße (S-Bahn/近郊鉄道、U-Bahn/地下鉄)

---

## レセプション会場

### 連邦環境省アトリウム

Atrium des Bundesministeriums für Umwelt, Naturschutz  
und Reaktorsicherheit

Stresemannstraße 128-130, 10117 Berlin



### お問合せ

独立行政法人新エネルギー・  
産業技術総合開発機構 (NEDO)  
国際部 篠崎・蜂須賀

T: 044-520-5190

### 参加お申込み

以下のサイトからお申し込みください。

[www.ecos-consult.com/  
application-udf2013jp](http://www.ecos-consult.com/application-udf2013jp)